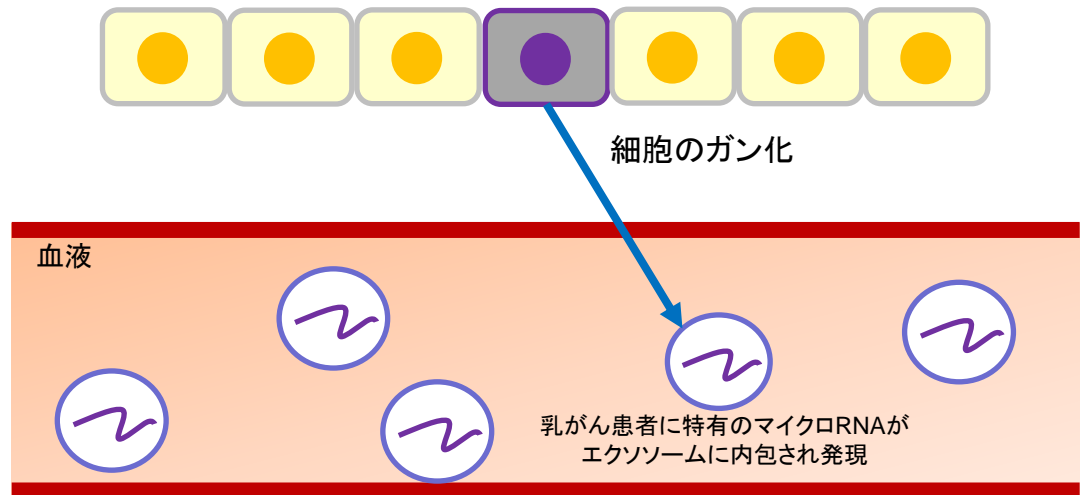


# マイクロRNA解析によるがんのリスク判定 ミアテスト®乳がんリスク検査

## <ミアテスト®乳がんリスク検査とは？>

マイクロRNAの解析により乳がんのリスクを調べる検査です。マイクロRNAは遺伝子の発現調節の機能を有すると考えられており、がん細胞からも特定の種類のものが発現し、量も変動することが明らかになっています。本検査では乳がん患者に特異的に増減する数種類のマイクロRNAを測定に用いています。

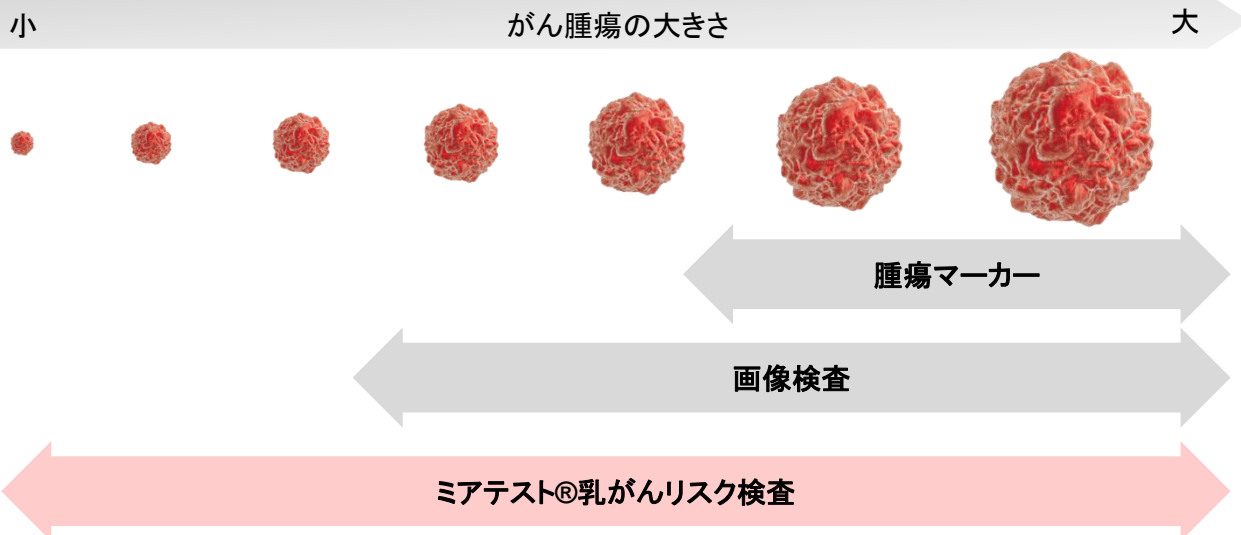


マイクロRNAは数千種存在し、がん種によりその種類や量が異なると考えられています。

## <ミアテスト®乳がんリスク検査の特徴>

本検査で測定している血中マイクロRNA量は、がん細胞の活発性を反映し、がんのステージや腫瘍の大きさには依存せず変化します。そのため、腫瘍マーカーが反応する前段階や画像検査で見つけることが難しいがんも早期に捉える可能性があり、スクリーニング検査として活用いただけます。

ミアテスト®と従来のがん検査



ミアテスト®乳がんリスク検査をスクリーニングに用いることで  
乳がんの早期発見・早期治療の可能性を高めることが可能です。

# <報告レポートイメージ>

検査は乳がん患者に特異的に反応する数種類のマイクロRNAの解析を行い、紙面レポートにて報告します。判定はA～Dの4段階で判定しており、これまでに健常人でしか検出されていない領域をA判定、これまでに疾患群でしか検出されていない領域をD判定としています。C、D判定の方には精密検査の実施を推奨しています。

### ミルテル検査報告書

|          |              |           |             |
|----------|--------------|-----------|-------------|
| 氏名       | ミルテル ハナコ     | 医療機関名     | ミルテル        |
| 性別       | 女            | 年齢        | 49歳         |
| カルテNo.   |              | 医療機関コード   | 99999       |
| 材料       | 血清           | 受診科/外来・入院 |             |
| ミルテル検査ID | 000037608    | 担当医       |             |
| 依頼元検査ID  |              | 採取日       | 2020年07月22日 |
| 顧客コード    | 999 99999 00 | ミルテル受領日   | 2020年07月22日 |
| 検査責任者    | 中島 由恵        | 報告日       | 2020年07月30日 |

---

#### ミアテスト®検査結果

「ミアテスト®」は、血清中のマイクロRNAを含む複数の小分子RNAの測定値を、ミルテル独自の検査値に変換します。その後、健常者と疾患群の分布に当てはめ、疾患に対する罹患リスクを判定しています。対象疾患に属している人によく似たパターンの場合には「高リスク領域」、属していない人によく似たパターンを示す場合には「低リスク領域」に検査値が判定されます。

今回のあなたの検査結果は以下の通りです。

|      |      |
|------|------|
| 検査項目 | 乳がん  |
| 検査値  | 0.17 |

今回のあなたの検査結果★が、データベース上の健常者群♦と疾患群♠の検査値分布図に対し、どこに位置しているかを右に示しています。

検査値分布図につきましては、別紙の解説資料をご確認ください。

◆結果資料：非対象疾患の結果  
★結果資料：対象疾患の結果

| 検査項目 | 検査値  | 罹患リスク | 高リスク |
|------|------|-------|------|
| 乳がん  | 0.17 | 低     |      |

※検査項目に関する詳細は、別紙の解説資料をご覧ください。

株式会社ミルテル

### ミアテスト解説資料

#### ミアテスト検査結果について

##### 「ミアテスト」のリスク領域の見方

健常者と疾患群の検査値の分布を、わかりやすく図で表示しています。実際の検査値が、2群の分布のどこに位置するかにより、現在のリスクを評価します。

- 疾患リスク領域は、健常者群♦と疾患群を精密な区分けをスプレッドシート®(検査値=0.5)を境に、低リスク領域(検査値0.5未満)と高リスク領域(検査値0.5以上)に分かれます。
- 健常者群の中間値を基準に、低リスク領域はAとB領域に分かれます。
- 疾患群の中間値を基準に、高リスク領域はCとD領域に分かれます。
- 結果を検査値で算出し、最終の検査値分布図にあるので、現在のリスクを確認できます。

※結果資料：対象疾患の結果  
◆結果資料：非対象疾患の結果  
★結果資料：対象疾患の結果

#### リスク領域の解釈

| リスク評価 | 検査値分布 | リスク領域   |
|-------|-------|---|
| 高リスク  | D領域   | <ul style="list-style-type: none"> <li>疾患群が健康群よりも多く存在する領域です。</li> <li>検査値が健康群の検査値分布の外にあり、疾患の罹患リスクが高い領域です。結果資料の「罹患リスク」が「高リスク」の判定となります。</li> <li>ミアテストによる検査結果が健康群よりも疾患群に多く見られるため、結果より注意が必要となります。</li> </ul>   |
| 中リスク  | C領域   | <ul style="list-style-type: none"> <li>「検査値0.5」(境目の検査値)よりも高リスク領域に属する検査値が検出されます。</li> <li>疾患群が健康群よりも多く存在する領域です。</li> <li>検査値が健康群の検査値分布の外にあり、疾患の罹患リスクが高い領域です。結果資料の「罹患リスク」が「中リスク」の判定となります。</li> <li>この検査結果は健康群での結果です。引き続き定期的な検査を実施して早期発見・治療を促します。</li> </ul> |
| 低リスク  | B領域   | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康群が健康群よりも多く存在する領域です。</li> <li>検査値が健康群の検査値分布の外にあり、疾患の罹患リスクが低い領域です。結果資料の「罹患リスク」が「低リスク」の判定となります。</li> <li>この検査結果は健康群での結果です。引き続き定期的な検査を実施して早期発見・治療を促します。</li> </ul>   |
| 健康群   | A領域   | <ul style="list-style-type: none"> <li>健康群が健康群よりも多く存在する領域です。</li> <li>検査値が健康群の検査値分布の外にあり、疾患の罹患リスクが低い領域です。結果資料の「罹患リスク」が「健康群」の判定となります。</li> <li>この検査結果は健康群での結果です。引き続き定期的な検査を実施して早期発見・治療を促します。</li> </ul>  |

|         |   |
|---------|---|
| 検査項目名   | ミアテスト®乳がんリスク検査  |
| 検体量     | 全血 6 mL (※施設にて遠心処理を行って頂く必要がございます)   |
| 容器      | 血清分離剤入り容器   |
| 保存(安定性) | 冷蔵  |
| 報告期間    | 検体受領から30日   |
| 測定・解析機関 | 株式会社ミルテル  |
| 検査方法    | qRT-PCR法  |
| 備考      | ミアテスト®乳がんリスク検査は乳がんのリスクを判定する保険未記載の検査です。本結果のみで乳がんの有無を判定する検査ではありません。他検査の結果と併せて今後の検査・治療方針の検討にお役立て頂くことをお勧めします。 |

参考文献:

- Dan Xu, et al, miR-22 represses cancer progression by inducing cellular senescence. J Cell Biol. 2011 Apr 18; 193(2): 409-424
- 株式会社ミルテルホームページ <https://www.mirtel.co.jp/>